

第7回研究授業 第3学年 授業記録

平成30年10月24日(水)

T:挿絵見て下さい。どんな話が覚えてますか。

もう一度、誰が何をしたのか、わたしのお話を聞きながら、思い出してください。

挿絵と言葉を見ながら

範読

T:思い出しましたか。みんなが選んだ問いから初めていきます。セーフティーはもう見なくても言えますね。

C:否定しない

C:ボールをもっている人以外話をしない

T:今日の選んだ問いはこちら

全員:なぜしんごはやめなよと言えなかったのか。

C:言ったらめごとになりそう

C:言ったらけんかになりそう

C:仲間はずれにされる

C:おちたら危ないし、おこられちゃうから

C:友達だからいえなかった

C:こわかったから

C:つよしたちが何だよあいつっていわれたらどうしよう

T:落ちたら危ないといったけど、落ちたら危ないんだっただけじゃないの？

みんながもし、しんごだったら、言えますか。

準備できた人から貼りにきてください。

C:真ん中とかでもいいの？

T:そういうときあるよね

T:言える人達からなんでそう考えるのか、なぜならを使っていってください。

C:なぜなら、女の人に、みんなを止められたらよかったのにねと言われてて、女の人に怒られると思うんだけど・・・なんか違う！

T:他の人に回してください。

C:なぜなら、もし、友達が落ちたら自分が止められなくて悪いことになっちゃうから。

C:友達が落ちたら、止められなくて、全部しんごのせいにされちゃう

C:親友だけど、とめないで、まだ続けてのっちゃう

C:もし、とめなかったらつよしがまたのっちゃう

C:つよしがけがしたら、しんごは責任とれないから。

C:言えるけど、すぐ言えなくて、ちょっとだけ考えて、言う

C:言ったら、けんかになるから。

C：もし言ったら、仲間はずれにされちゃうし、ゆうきが出せない。

ネームカード移動

C：言える→言えない

C：ちょっと言える→言える

C：言える→言えない

T：変わった人がいました。なんで言えるにかわったのかな。

C：私もいとこ達がそういうことしたら、すぐ言うから、言えるにした。

C：言えないにしたのは、もし自分が下りなよっていても、おりなかったら、キリがないから。

C：言えない理由は、何回も言っても、聞いてくれないかもしれない

C：言わない方がいい。言ったらすぐけんかになるし、帰っちゃうかも。後から女の人がきて、つよしがおこられたら、しんごだけ怒られなかったのずるいぞと言われそう。

T：言ってもなんか色々ありそうだし、言えなかったら、女の人にも言われるし、言えるかな

言えないかなだと時間だけが過ぎて行っちゃうし。

ネームカード移動

C：言える→ちょっと言えない

T：次に考えて欲しいのは、しんごさんの頭もみんなときっと一緒だと思います。いろいろあった帰り道、しんごさんです。色々考えてます。みんなに考えてほしいことです。読みましょう。

全員：帰り道、しんごはどんなことを考えていただろうか。

T：どんなこと考えていたとおもいますか。

C：次に上ったらしんごさんはやめなよと言おうとした。

T2：つぎはどうしたらやめなよと言えらると思いますか。

C：つよしくんに、最初は言えなかったけど、やめなよってつよしくんをSLにのらせないようにする

C：女の人より最初に注意して、ちゃんとのぼらせないようにしたい。

C：なんで自分が止められなかったのか

C：今日は言えなかったし、女の人にもおこられたから、次はやめなよって言えるようにしたいと思った。

T：どうしてあるとき言えなかったんだとか。よくあるよね。いつとけばよかったって。でもさあ、悪いことしてるのつよし達でしょ。だったら、悪い子としてるんだって、あるとき言えると思うんだけど、悪いことしている人の前ではっきり言うためにはどうしたらいいんだろうね。

C：勇気がいる。

C：オレが、しんごが止められなかったけど、つよしがのぼって、なんで、しんごまでおこられなきゃいけないのか。

C：どうして言えなかったのか考えている。理由は、おねいさんに怒られたから、次はちゃんと言えるようにしたい。

C：しんごはなんであの時言えなかったんだろう。言えば良かった。

C：つよしは、なんで自慢させたかったのか。

T：つよし自慢しなきゃ、よかったのにね。

なんで、のぼってないのに、おこられたのかあ。なんかしんご悪いことした。

C：つよしが悪いことしたけど、しんごは止めなよって言えなかったから、お姉さんはおこったと思う。

C：言っても言わなくても同じ。つよしとか、仲間にだけ言われると思う。しんごものぼって逆に、つよしに質問されると思う。なんで、しんごはSLに上らなかったのって

C：しんごは言おうと思ってたけど、言えなかったし、次はちゃんと言ってという意味で怒られた。

C：しんごは悪くないけど、今度からはちゃんと言って欲しいと思った。

C：なんで女の方は、つよしにいっぱいおこって、しんごにも同じくらいおこったの。しんごは言えなかっただけで、わざわざ、しんごにおこる必要無いと思う。

T：今の意味わかる。

C：つよしは悪いことしたけど、なんで言えなかっただけなのに、おこられたのか。

T：のぼってないのに、一言いわれなきゃいけないのかな。いいことしたのに。

C：次につよしとかに呼ばれても、SLとかにのぼっちゃだめ。最初はほめたけど、そういうのもまざって、いったと思う。

C：のぼった人達を止められなかったから。

C：自分が言えなかったことと、SLにのぼってだめって言えなかったことにおこっている。

T2：みんなの話を聞いて、思い出したことがあって、小学校のときなんだけど、遊んでて、帰る時間だったんだけど、帰るねって言わなきゃって思ったんだけど、言えなかったんだよね。みんなもそういう経験ないかな。

C：友達の家において、5時半までいたこと

T：どう思った

C：早く帰りたいと思った。でも一人で帰れなかった。

C：5時までには帰らないとおもったけど、口にはだせなかった、言うと上の学年にひとだから、けんかになりそう。

C：遊びたかったから、うそついた。

C：五時半に帰ってきた

T：言えなかった、やっちゃったとかあるとおもうけど。明日の話をしよう。こんなことは

ないと思うけど、「ねえエアリ行こうぜ。先生達はいないからばれないよ。オレ電車のっていったことあるからいかなあいい。」

C: いかない。なぜなら、迷子になるかもしれないし、だれかにつれていかれちゃうかもしれないから。

C: いかない。だって、学区外だし、迷子になるかもしれないから

C: お母さんたちにも心配されて、先生達にも伝わっちゃうからだめ。

C: 絶対いかない。なんで二人だけで行こうとするの。

C: いかない。お金がなくなるし、迷子になるし、大きなことになるから。

T: 「二人だけじゃないから、みんないるから一緒に行こうよ。」

C: いかない。駅員にも心配される。

C: 子供だけは絶対だめ

C: 前に経験してる。友達に家に行って、そのまま、コンビニに行った。子供だけで。

C: 人数がふえても、怒られるのは変わらないし、小学生はまだ小さいから、誘拐される。

C: 道に迷った。

T: 本当に言える？全員がダメ、行かないっていつてるけど、喧嘩になるとか、遊んであげないとか言われても本当に言える。

C: 遊ばないとかって言っても、ちゃんと説明したら、友達も理解してくれる。

C: 人が多くても、迷子になったら、どこにいるかもわからない。

T 2: ちょっとだけ、自転車でいける所だったら、行かないって言える？どうかな。

C: そのときは、お金持ってたからいった。次は絶対にいかない。警察につれていかれるから。

C: 前に、伊藤商店に一人でいった。

T: S L公園から自分たちのことも考えました。そんなときにみんなはこんな事を考えていました。はいどうぞ。

全員: 正しいと思ったことを自信をもってするには・・・

T: 何を正しいと思っていたの。のぼっちゃだめ、学区外には、白石城にも、子供だけで、ルールをちょっとやぶって、ルールやぶりはいい？だめだよね。今日色々考えました。

C: 正しいことを自信をもってするには、怒られたことは、怒られたことの反対は正しいことだから、それを自信をもってする。1回怒られた経験があるから。

T: 今日のノートの書くことはこれです。自信をもってするには、みんないつてました。ねえいこうよと言われても、友達でも、みんなやってるからと言われても・・・。では、ノートの書きましょう。

C: 正しい言葉を心の中で考えて、そして、その誘われた人にごめん一緒にはいけないんだと言って断ればいい。

C: 友達や親友でもちゃんと断ったり、ダメっていう。

C: 自分が思ったことをはっきりいう。